

北原 康子さん（宮内）



村で27年間公文式の教室を開いていました。相馬大野台第6仮設住宅の管理人は7年目。3期務めた人権擁護委員はこのほど退任しました。

原町から宮内に嫁いで来て、声がかかると村おこしのグループの会合に参加したりもしていました。村のことを知りました。新しいことを教えてもらうのは楽しいですからね。本当は内気で話下手な私ですが、そうした機会を経験するうちに、「角度を変えれば、いろいろな考え方ができるんだ。自分の考えだけにこだわったり、殻に閉じこもったりしないで、苦手な分野でも関わってみよう」と思えるようになりました。大人なんだから、いろいろな所に出て、気軽に話ができるようになりたいと

も思っていました。とはいえ、抜けている所がいっぱい。しっかりしたいんですけどね！
震災の後、夫は職場に寝泊まり、夫の両親は牛の世話。家族がバラバラになりました。完成を待つて入居した仮設住宅では、手続きの時に管理人を頼まれ、「集会所のお掃除くらいならできるかな」と軽い気持ちで引き受けました。今思えば、何も分からなかったからこそ、迷いなくやってこれたのかなと思います。
支援や視察に来てくださる方は、できるだけ受け入れて来ました。この仮設住宅の中だけには、誰もが引きこもりがちになると思いました。運動、手芸、出前講座、支援、交流。ほぼ毎日何かがあつて、お誘いの声をかけ続けました。
一つ思うことは、例えば熊本でも地震があつたように、こういう避難生活は、誰にでも起こり得るんですよ。原発事故と自然災害の違いはありますが、避難生活の中で起こること、仮設住宅での暮らし方など、どうしようもない部分も隠さずに、多くの方に知っていただくことが大切ではないかと思うんです。支援に来てくださる方も、やはり現状を知りたいですよ。次の防災につなげていただけたらと思います。自分たちも、話すことで整理ができていきます。
宮内の家は建て替えました。田畑や山もありますし、少しずつ片付けを進めています。避難の間に長女が兵庫に嫁ぎ、孫も生まれました。主人は那須塩原で花づくりを始め、結婚後初めて離れ離れの生活でした。管理人の仕事を終えたら、主人の所に行つて、落ち着いてこれからのことを考えてみるつもりです。

心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

おしえてくんちえ！堀先生

相談 何かを「決める」ことが、難しく感じています。

堀先生

放射線災害は、たくさんのものごとをあいまいにします。例えば「戻れる」のか「戻れない」のかが、はっきりしなくなる場合もあるのです。そして、そのように「決められない」と自体が、先に進むことを邪魔する、とても苦しい状況です。「決められない」のに「決める／選ぶ」ことを求められるのは大変です。そんな時には、あなたを含めた誰かが悪いのではなく、そのようなあいまいな状況が悪いのだと考えてください。



精神科医 堀 有伸 先生
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係（いちばん館内）☎0244-42-1638まで

「イエス」と「ノー」

こころのぽけっと

誰もが全く思ってもみなかった避難生活。影も形も色も匂いもない放射能への対応を強いられた6、7年でした。私は、起きてしまったことに愚痴を言っても、何も生まれてこないの、前向きな対応と心がけてきたところです。

実は、物事をうまくいかせようと思ったら「イエス」からはじめること。という話を聞いたことがあります。「ノー」と言ってしまうえば、出来るかもしれない可能性を最初から無くしてしまうこともあるということでしょう。「イエス」や「ノー」をはっきり言うことにしようという話も聞いたことがあります。ただし、「ノー」と言ったらそれで終わらないように。と。「イエス」は答えですが、「ノー」は答えではない。「ノー」の答えで終わっていたのでは尻切れトンボになってしまう。相手の出来るようなことを「提案」していくことが、「ノー」の答えには必ず付かねばならないということでした。

つまり、「イエス」は「よし、やりましょう」なのだが、「ノー」の方は「ノー、その代わりにこういう風に考えられませんか」というように。「ノー」は「その代わりに」と続けて初めて答えとなるということです。

この6年間、私は「ノー」も言ってきましたが、村の復興や、村民のことを考えれば「ノー」の次に必ず可能性を提案してきたつもりです。「イグネ」の切り倒しもありましたし、約600戸の昇口舗装も、今進められています。「ああ、この家も舗装に」「帰って来られるのだな」と思いながら村内を回っているところです。これからは「イエス」と「ノー」をうまく使い分けて復興にあたっていくつもりです。

平成29年10月12日 飯館村長 菅野 典雄



誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
青柳 知 芹 ちゃん	将雄・友美	二枚橋・須萱
中井田 あかり 燈 ちゃん	晃・かおり	大倉
石川 かける 翔 くん	聡・美保	比曽
相澤 ひな 陽 奈 ちゃん	正孝・茜	白石

すくすくと元気に育ってね



お く や み

氏 名	年齢	行政区
赤石沢 喜 造	59	草野
木 幡 康 裕	76	比曽
庄 司 シゲ子	94	関沢
木 幡 晴 子	84	伊丹沢
赤石澤 重 光	82	二枚橋・須萱
庄 司 金 男	91	伊丹沢

ご冥福をお祈り申し上げます



（9月21日から10月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

（平成29年9月30日現在）

人口	今 月（前月比）
男	2965人（-7）
女	2981人（-9）
計	5946人（-16）
世帯数	1807戸（-4）

9月1日～30日までの

◆◆人口動態◆◆

転入	0人
転出	12人
出生	3人
死亡	6人
（住民基本台帳人口）	